



にんげん こ ちょう なが
人間の子ども、腸の長さはどれくらいなの

なが こじん さ
長さには個人差がある

からだ なか ちから おしりの 穴 (こう門) までの 長い トンネル があり、この トンネル を 消化管 といいます。長さは、大人で 8メートル くらい (子どもで 6メートル 以上) もあり、そのうち、小腸 の長さは 約 6.5メートル、大腸 の長さは 約 1.5メートル といわれています。しかし、この長さには個人差があり、口から こう門 までの長さは、大人の 男 の人で、その人の 背 の高さのおよそ 7倍 といわれています。しかし、子どもや 女 の人 の場合には、もっと 長い といわれていますので、子どもの 腸 の長さについては、その子の 背 の高さの 7倍 以上とおぼえていけばいいようです。

食べ物 は、この トンネル の中を 通っている 間に、だんだん 「うんち」 に 姿 を 変えて いきます。

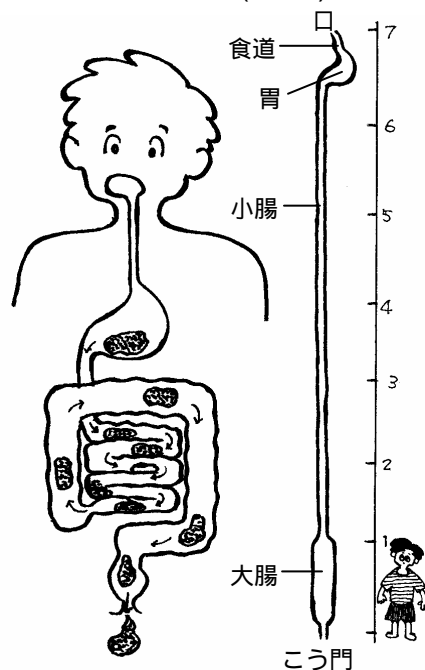
食べ物 が 「うんち」 に 変わる まで

食べ物 の中には、栄養 になる ものと 水分、そして、かす になる ものが たくさん あります。

口 に入った 食べ物は、歯 でかみ くだかれ、胃 で細かく されて 消化 され、小腸 で 栄養 が 吸収 され、大腸 で 水分 が 吸収 されて、残った かが、うんち (大便) として 体外 へ 出 されます。

そして、食べた 物の 種類 や、色 や 形、味 や かおり は ちがっているのに、それが 消化 ・ 吸収 されて、うんち になった ときには、みな 同じ ような 状態 になっています。(監修・保志 宏)

食べ物が「うんち」(大便)になるまで



口からこう門までの長さは、その人の背の高さの7倍にもなる。

